

セラピストのためのクリニカルクラークシップ勉強会の報告について

更新日 平成27年8月17日

平成27年8月1日・2日に、セラピストのためのクリニカルクラークシップ勉強会が開催されましたので、その概要についてご報告します。

過去から継続されてきたセラピスト教育問題を整理するとともに、新たな教育手法を法人内に取り入れていくことを目的としております。また、日ごろ臨床実習指導に悩みを抱える施設様との情報交換の場を設けたいと考えまして勉強会を開催しました。

この勉強会は、玄州会リハビリテーション部企画運営員7名で構成されています。

勉強会概要

日時:平成27年8月1日(土曜日)・2日(日曜日)

1日目:午後3時から午後5時30分まで

2日目:午前10時から午後2時45分まで

場所:老岐文化ホール(102号A・B室会議室)

参加者:29名(うち 養成校関係者10名)

内容:

講演1クリニカルクラークシップ理論

講師:中川 法一先生

講演2クリニカルクラークシップを实践した上での問題点

講師:中嶋 仁先生

講演3クリニカルクラークシップの实践

講師:長福 武志先生

講演4クリニカルクラークシップの实践

講師:浦田健太郎先生

講演5チェック・リスト～認知skillを中心に～

講師:中川法一先生

感想

研修会では、現在の臨床実習指導場面での“レポート指導偏重(off-JT)”から、“臨床場面での現場指導に重きを置くべき(OJT)”とのお話があり、臨床実習・卒後教育の本来の目的を見つめなおすきっかけになりました。



▲ 中川法一先生講演の様子



▲ 会場の様子



▲ 参加者からの質問の様子